令和７年度たかさき ISO 活動報告

高崎市立中央小学校

１　取り組みの概要

中央小学校では、環境を大切にすることで、人と地球とのつながりを考えられる人になってほしいという願いを込めて活動に取り組んできた。学校目標である「よく考える子、よく働く子、なかよくできる子」を合言葉に、日々自分の身の回りに目を向け、自分たちにできることは何かを考え生活してきた。PTCA としての取り組みも盛んで、地域と保護者、学校が一丸となり資源回収なども行ってきた。

２　令和７年度の活動内容

【学校をきれいにする活動】

〇花壇の整備

環境福祉委員会の児童たちが、花の苗を植えたり、花の種をまいたりした。地域の幼稚園やお店の方々、事業所から、花の苗、球根をいただき、校庭の花壇をにぎやかにすることができた。休み時間に花壇の水やりや花がらつみ、雑草の除草作業を行い、心を込めて育ててきた。委員会の児童と一緒に活動を手伝う児童達もでてきた。

〇除草作業、落ち葉掃き

運動会に向けて、朝活動の時間に、全校児童による校庭の環境美化を行った。校庭、走路等を整備し、草むしりや石拾いを行い、安全に行事を実施することができた。校庭の正門付近に大きなイチョウの木があり、秋にはたくさんの銀杏の実をつける。朝早く登校した児童の中には、教員と共に率先して落ち葉の片づけをする姿が見られた。

〇清掃活動

毎日の掃除の時間の最後には、細かいところまで目を向け汚れているところはないか探す時間となっている。早く掃除が終わっても「見つけ掃除をしよう」を合言葉に細かく見ていくことで校内の美化を心掛けてきている。

教員自ら玄関の整頓を行い、段差のない下駄箱にも砂が入りこまないように気をかけている。また、靴の入れ方にも注意して見てきている。児童も下駄箱へかかとをそろえて靴をきれいに入れようという気持ちが芽生え、休み時間後は、自ら気を付けている姿が見られる。

【資源を大切にする活動】

〇資源回収

PTCA（P…保護者、T…教員、C…地域）と協力し、中央地区の資源回収を行っている。子どもたちは、保護者と一緒に、空き缶つぶしや段ボール、古着などを一生懸命に運んだ。年間５回、各学年交代で行い、参加者には再生紙から作ったポケットテッシュを配った。回収した物をリサ

イクルし、新しい物に生まれ変わるということを小学生のうちから知ることで、環境を考えて丁寧な生活を送れるのではないかと期待している。

〇再生紙としての活用に向けて

職員室では、使用済みの紙をすぐに回収できるように、印刷室入口に古紙回収のスペースを作り、無理なく効率よく回収できるようにしている。

〇ペットボトルキャップ回収

玄関近くの階段付近にボックスを置き、一年を通して回収できるようにしている。休み明けには児童がたくさんのキャップを持ってきたり、地域の方も協力してくれたりして、４５ℓのビニール袋に年間２０袋程度のペットボトルキャップを回収することができた。

〇牛乳パックごみ

コロナで牛乳パックをリサイクルしなくなってしばらく経つが、なるべくごみを減らせるように、牛乳パックを小さくたたむ方法を環境福祉委員会で作成し、学級で視聴してもらった。ごみの量を減らすことで、ごみ回収にかかるビニール袋や輸送費の軽減を図ろうとしてきた。

〇電気・水

中央小学校は高崎市でも珍しい床暖房のある学校である。夜のうちに蓄電された電気を利用し、床暖房として活用することで、昼間は暖房をつけないで過ごしている。また、夏の間は便座の電気を消し、無駄な電気を使わないように心がけている。

環境委員は、節水を呼び掛けるポスターつくりに取り組んだ。

３　取り組みの見直し及び今後の活動

高崎市の環境方針や活動の手引きをもとに、中央小の方針を作成し、環境福祉委員会の活動を中心に様々な活動を行うことができた。また地域のご協力のおかげで、中央地区一丸となって活動を行うことができ、感謝を申し上げたい。

今後も、日常生活の様々な場面で児童が環境について考える場を設け、環境についての意識を高めていきたい。